

N
ゲージ

標準型
ガントリー
クレーン



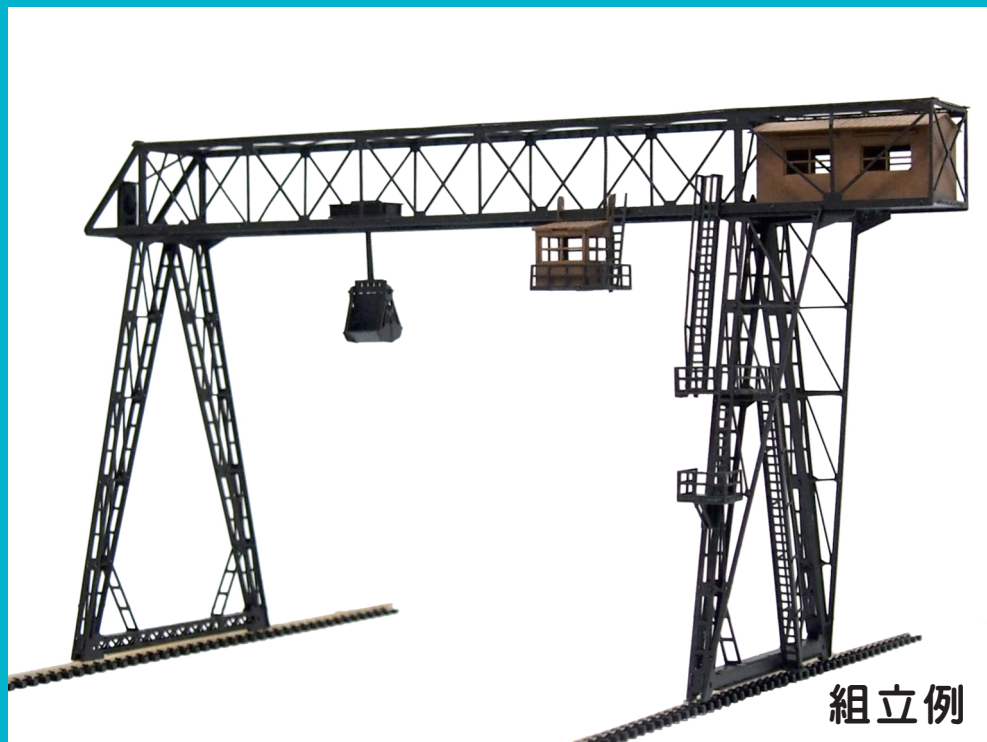
アドバンス

http://www.advanceltd.co.jp

N gauge 1:150
Paper Kit

Nゲージ向けペーパーキット カラー硬質紙をレーザー加工 塗装不要

標準型ガントリークレーン



組立例

サイズ：約幅252×奥行89.2×高さ146mm(レール除く)



組立に必要なもの
ペンセツ
接着剤
カッター
ピンセット
爪楊枝
(木工用)



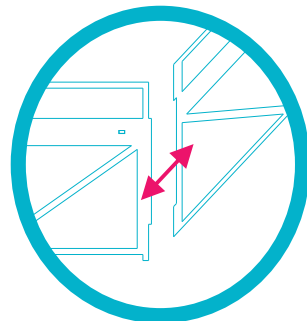
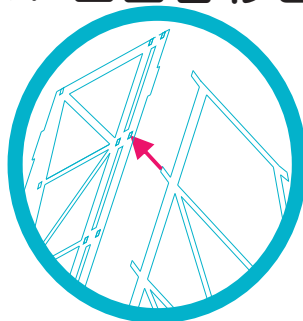
ご注意ください

対象年齢15才以上の模型愛好者向け商品です。
目や口の中に入らないでください。
本製品は「ペーパー」を加工していただきます。
組立の際は、必ず説明書に従って安全にご使用ください。
本製品は「ペーパー」を加工していただきます。
組立の際は、必ず説明書に従って安全にご使用ください。
本製品は「ペーパー」を加工していただきます。
組立の際は、必ず説明書に従って安全にご使用ください。

1013
9500

組立は差込み or 凹凸合わせ

基本的には、接合面に
布しては着くす。
塗布は、精度よく
合わせる必要があります。
凹凸を合わせる際、
差込む部分に
組み立てが



1013

Nゲージ

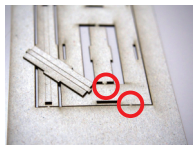


Nゲージ向け 標準型ガントリークレーン組立説明書

～ご用意ください～



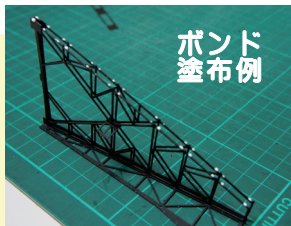
- ・デザインナイフ
- ・クラフトボンド
(木工ボンドと爪楊枝)
- ・ピンセット
- ・カッターマット



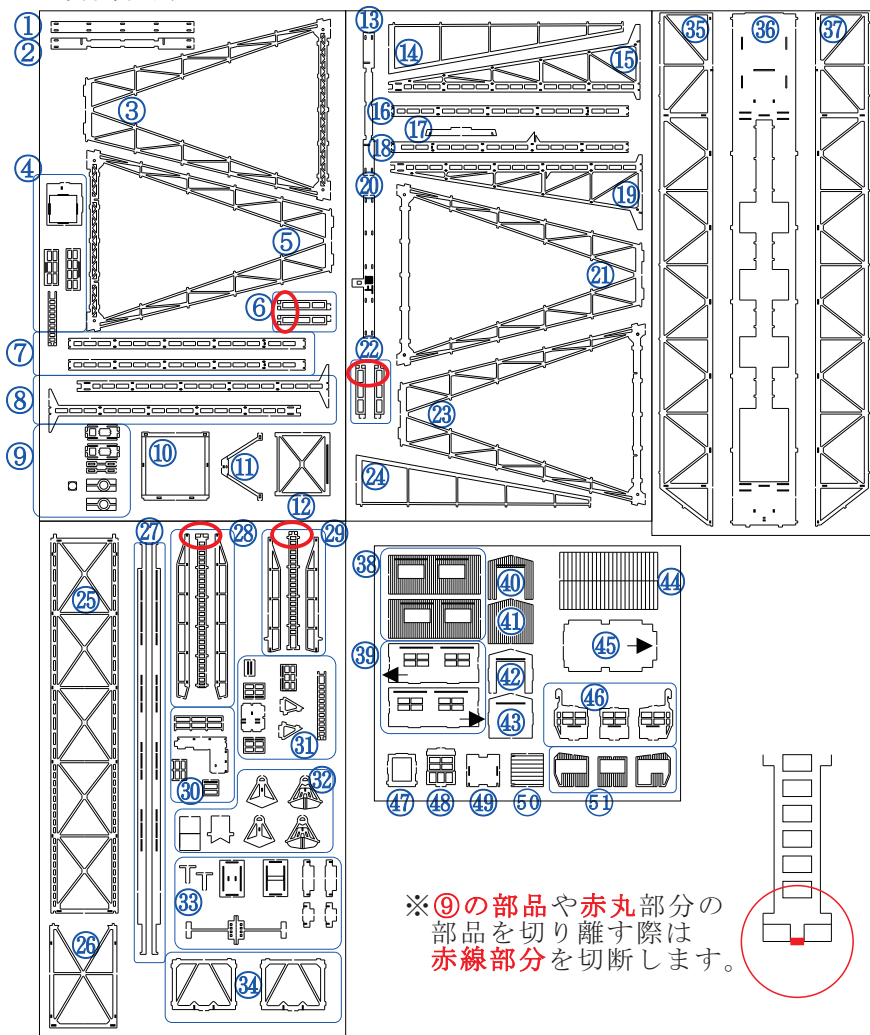
部品は、写真赤丸の様に、数カ所で留まっています。光に透かしますと、分かり易いです。

組立前に必ずお読みください

- ・部品はデザインナイフ等で丁寧に切り離します。
- ・接着は接合面に載せる様に塗布します(写真参照ください)。
- ・ボンドの水分で紙が柔らかくなり差込みづらくなるのを防ぐ為に**凸部分**を避けて、**凹部分**になるべく塗布します。
- ・接着した部品を剥がすのは困難です。全体の流れを理解して慎重に接着していくようにしましょう。



部品番号表



アドバンスペーパーキットについて

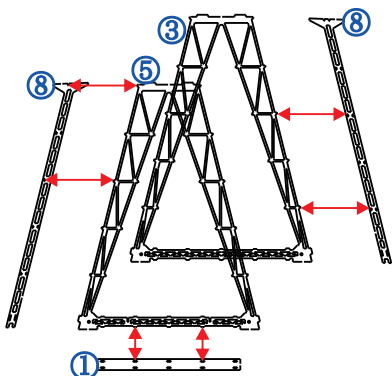
- ・カラー硬質紙をレーザーカットしており、加工時に切断面に焦げや煤が付着します。
- ・焦げ・煤が原因で指が汚れたり、焦げ臭い場合もありますが予めご了承ください。
- ・未切断や抜け残しがありましたらデザインナイフ等で取り除いてください。

脚部分から組立てていきます。

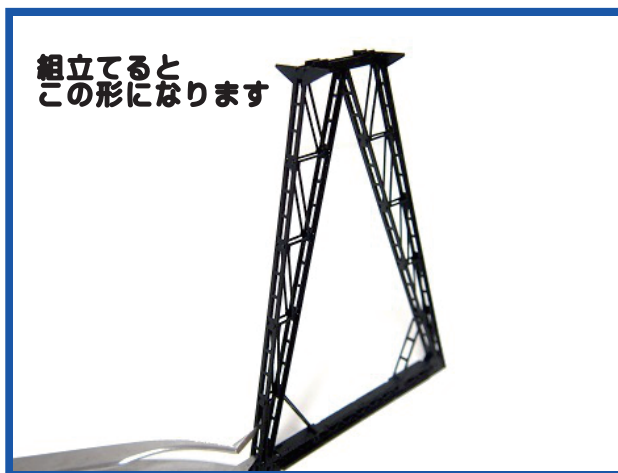
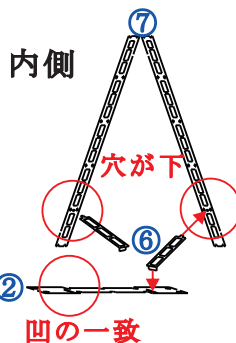
1. まず③⑤に、⑧と①を差込み接着します。
続いて、③⑤の三角形の内側に⑦②を差込み接着します。
部品⑥を写真を参考に折り曲げて差込み接着します。

ご注意

部品⑦は赤丸部分の穴のある方が下（⑥を差込む為の穴）になります。
部品⑧はハンマーヘッド形状が上側になります。
部品②は赤丸部分の凹と⑤の凹を一致させます（⑥を差込む為）。

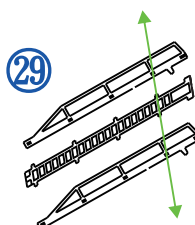
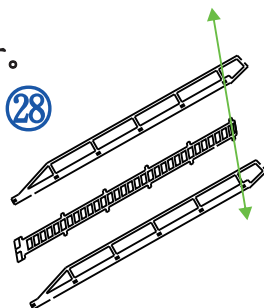
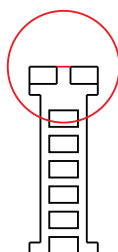


部品⑦⑧は
下から上
に向けて差
込みます。



もう1つ脚を制作する前に⑳㉑の階段を組立てます。

※部品を切り離す際は
赤線部分を切断します。

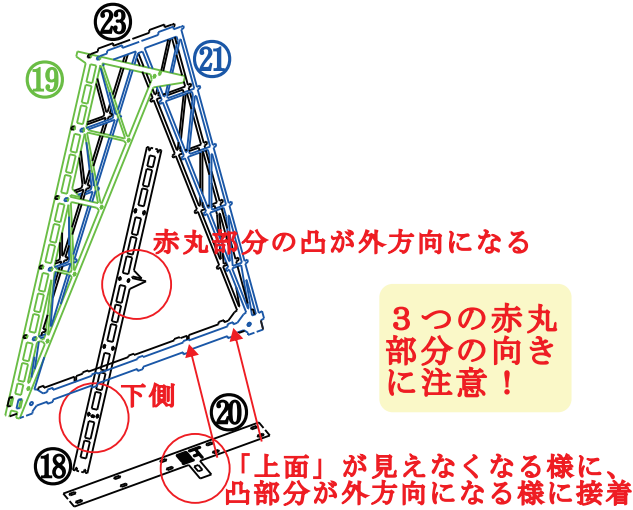


2. もうひとつ脚を製作します。

まず⑭⑮（同じようにみえますが形状が異なります）に、
外側に⑱内側に⑲下側に⑳を接着します。

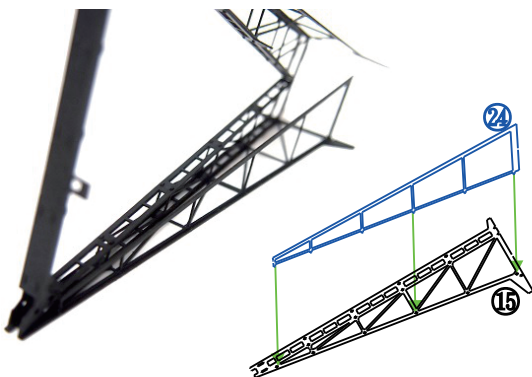
ご注意

㉓の部品は前項⑥同様に㉔を差し込むための凹があります。
⑱の部品は㉔（踊り場の床の部品）を差し込むための凹凸があります。
⑱の部品は表裏、上下があります。赤丸部分を確認してください。
㉔の部品は表裏、左右があります。「上面」の文字が見えなくなる様に、
また、階段を取付けるための凸が外側方向になる様に、注意します。



「2」で接着した⑮⑱に、⑭⑲を接着していきます。

工程としては、⑮⑱に⑭⑲を差し込み接着、乾燥後に接着部位を折り曲げて⑭⑲と⑱⑳を接着する流れとなります。

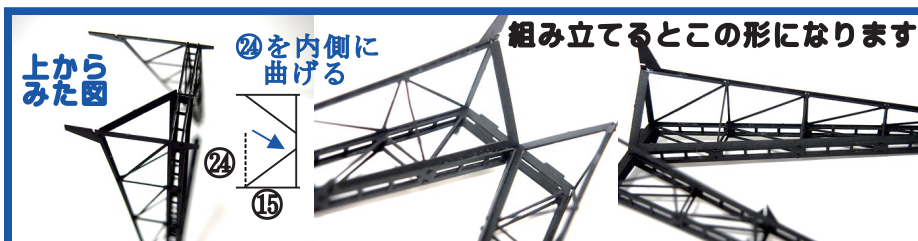


⑮⑱の内側に⑭⑲をそれぞれ接着し乾燥させます。

次に、接着部位を内側に折り曲げます。

折り曲げて接する面で⑱⑳とそれぞれ接着します。

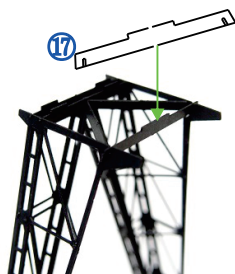
下記の3枚の写真は接着後のものです。写真を参考にしてください。



⑬を凹の向きを合わせて接着し、⑳を折り曲げて接着します。
部品⑰を凹凸を合わせて差し込み接着します。

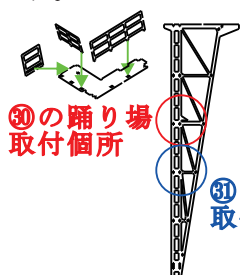
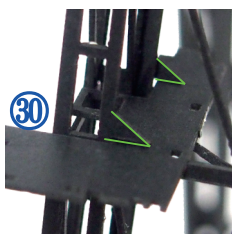


凹の向きを
合わせます



3. 「2」で製作した脚に2か所踊り場を取付けます。

まず㉓を取付けます。床を凹凸を合わせて差し込んでから
手摺を3個取付けます。



製作済みの㉕の階段を
取付け接着します。

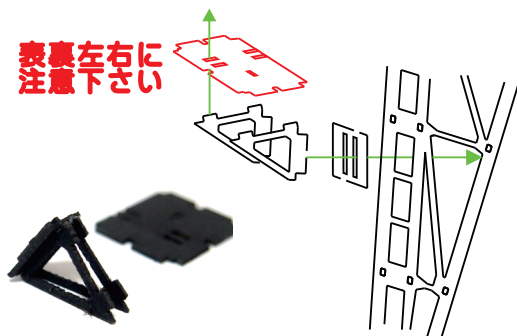
※寸法誤差を考慮した為
差込口にゆとりのある
設計としています。

ボンドを多めにして
固定してください。



次に㉖を取付けます。
土台から床、脚に接着、柵、はしごの
順番で組み立てます。

表裏左右に
注意下さい



組立てるとこの形になります。

梁の部分を組み立てていきます。

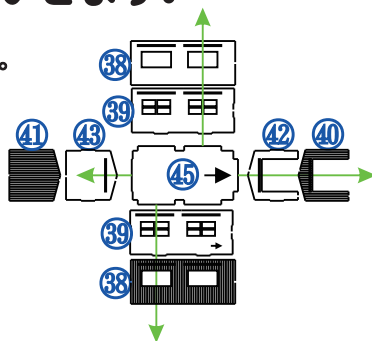
4. まず機械小屋を組み立てます。

ひさし部品④⑤に③②④③を
差し込み接着します。

④③の矢印は、同方向かつ
組立後も見えるようにします。

③④①の外壁を接着します。

④の屋根を接着します。



※床板は
ありません



5. 操作室を組み立てます。

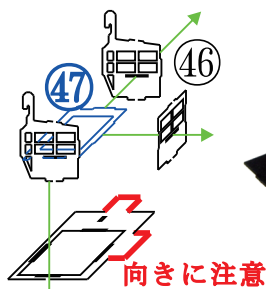
④⑦に④⑥を差し込み接着します。

床④を接着します。
(向きに注意)

屋根下地④⑨を接着し、
正面④⑧を接着します。

屋根⑤⑩と外壁51、
④の柵と
ハシゴを
接着します。

※柵は長い方から接着します。

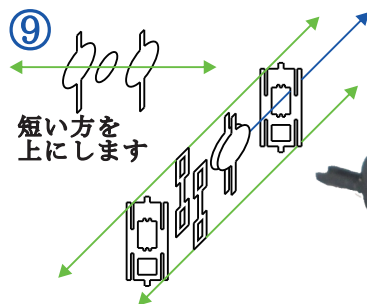


④⑧
切離さない
折るだけ



6. 滑車を固定するアングルを組み立てます。

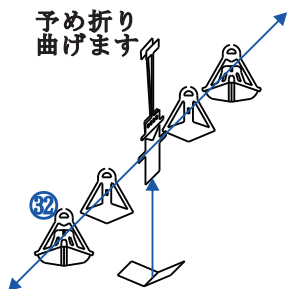
⑨の部品を図面と写真を参考に組み立てます。



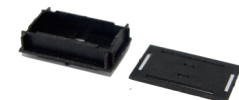
7. バケットと滑走装置を組み立てます。

⑫⑬の部品を図を参考に差し込み接着します。

予め折り
曲げます



先に短い方を
差し込みます。



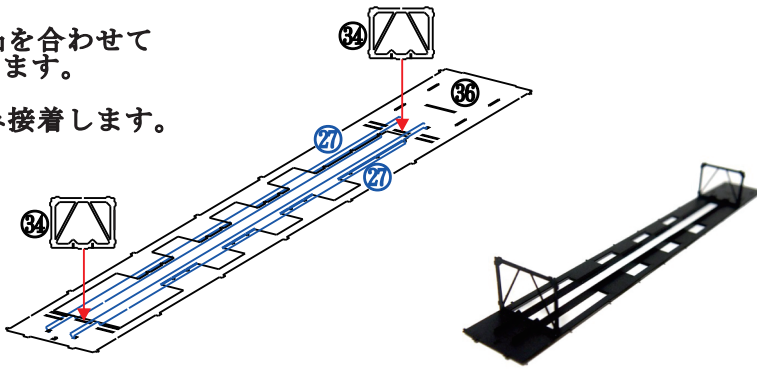
バケットを
差し込んで
90° 回して
抜け防止で、
「T」部品を
差しします。



バケットを差し込んで
90° 回す

8. ③⑥に②⑦を凹凸を合わせて
差込み接着します。

③④を2か所差込み接着します。

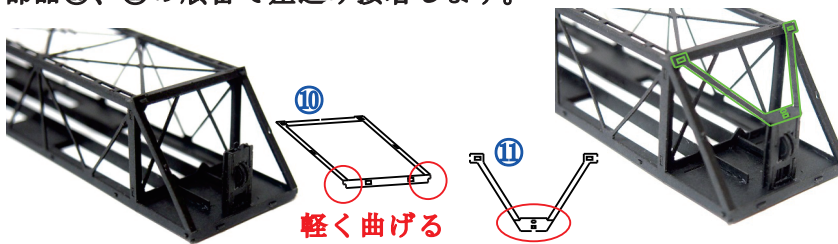


「4」で制作した機械小屋を接着します。
※完成後に接着することもできます。
塗装をお考えの場合は完成後の接着をおすすめいたします。

③⑤⑦を差込み接着し、②⑧も接着します。



「6」で制作した滑車アングルを接着します。
部品⑩、⑪の順番で差込み接着します。



⑫⑬の順番で取付けます（完成後でも可）。脚を梁に差込み接着します。



操作室はお好みの場所に引っ掛けて接着します。
バケットと滑走装置は②⑦のレール上面に載せます。

製作済みの⑭の階段を
接着し完成になります。

